

未来のための 議会改革を！

前号でお伝えした議会改革に、継続して取り組んでいます。



議会の開催時刻の変更

7月21日の臨時議会でお伝えいたしましたが、9月定例会より、議会の開会時刻を9時～16時に変更予定です（従来は10時～17時）。

式根島から新島の議場へと、議員だけでなく役場職員も参加しますので、往來の負担を減らすことや、予期せぬ滞在拘束を減らすことを期待しています。また、保育園児や小学生児童の子育てなどと議会活動を両立しやすくして、新しい議員の成り手を増やす期待もあります。



オンライン併用の会合へ！

月1回程度開催している全員協議会ですが、7月7日からオンライン併用でも開催しました。

9時からの全員協議会に加えて、10時から『議員と一緒に考える会・観光関係者編』を開催しました。

事前のファイル共有や連絡方法など周辺のノウハウも模索しつつ蓄積しているところです。



小笠原訪問レポート

小笠原諸島日本復帰55周年記念式典に、6月22日～27日の日程で来賓として出席しました。

各島の議長・村長らと意見交換しながら気づいたことを共有したいと思います。



元気に働ける 家族層が多い 人口構成

ビジネスチャンスは多くて、若者は家さえあれば住みやすいようです。父島は新島と同程度の人口に対して村営の保育園児55人と多く、保育園以外にも社協が『ちびっこクラブ』という認可外保育施設（9時30分～11時30分の開園・定員40人）を運営しているほどです。



戸数は多くも 抽選殺到の 公営住宅

複雑に隆起した父島では平地が少なく、若郷地区くらいの面積に船客待合所と繁華街が集

中し、斜面の合間にも公営住宅が設置されている印象を受けました。

小笠原村では、持ち家率が17%、令和4年4月1日時点の都営住宅は父島で297戸、母島で96戸のとこのと。



▲父島の都営住宅と村営バス停。傾斜地を造成して建てられている住宅も多い。

ば都営住宅では2万数千円台の物件でも、民間住宅では7万円台になること、さらに民間の家賃では10万円を想定して新築していることもあるとのこと

議長 木村諭史